

【自治体 05】 兵庫県伊丹市

自治体名	兵庫県伊丹市	部署名	グリーン戦略室
課題・テーマの題名			
全国初！共創によるゼロカーボン実現 ～企業・伊丹市・森林自治体で作る新たな社会経済モデル～			
解決したい課題等の背景と内容			
<p>国は、2050年ゼロカーボンに向けて国民・民間事業者等と連携した取組を展開しています。その一方で、ゼロカーボン実現となった事例は存在しないのが現状です。</p> <p><u>この課題は、技術進歩や社会制度の整備が進んでいないことが要因なのではないでしょうか？</u></p> <p>伊丹市は、<u>今の技術や社会制度を活用した新しい社会経済モデルが構築されていない事が課題</u>と考えます。</p> <p>この課題に対し、「自治体だからできること」として、下記2つの新たな社会経済モデル構築を検討しております。</p>			
<p><b>【検討施策①：森林保全を通じたゼロカーボン実現】</b></p> <p>従来の社会経済モデル 森林自治体単独で行う森林整備</p> <p>↓</p> <p>新たな社会経済モデル 都市自治体・企業も共創した森林保全及び新たな価値創出</p>			
<p><b>【検討施策②：市民と共創する都市部の新たな環境価値創造】</b></p> <p>従来の社会経済モデル 人口集中している都市部は、資源を消費して大量のCO2排出を行う</p> <p>↓</p> <p>新たな社会経済モデル 都市部のCO2排出量削減を新たな環境価値として創出</p>			
<p>検討施策①と検討施策②の詳細を記載した資料はこちらのPDFです。  <a href="http://www.kankyokan.jp/wp/wp-content/uploads/2022/10/05_Itami_city_siryo.pdf">http://www.kankyokan.jp/wp/wp-content/uploads/2022/10/05_Itami_city_siryo.pdf</a></p>			
企業等の提案者に期待していること			
<p>2050年ゼロカーボン実現は、「従来の社会経済モデル」から「新たな社会経済モデル」へ変革が必要であると考えております。</p> <p>上記に、提案しました施策は検討段階であり、「自治体だからできること」、「企業だからできること」を踏まえ、互いに共創して新たな社会経済モデルを構築できればと考えております。幅広くご意見・ご提案いただければと思いますので、宜しくお願い致します。</p>			
備考			
<p>・伊丹市のウェブサイト <a href="https://www.city.itami.lg.jp/">https://www.city.itami.lg.jp/</a></p>			